

## 【別紙】

一般社団法人 日本ボクシング連盟 令和3年度 第3回理事会（緊急）別添資料  
2021. 8. 17（火） 21:00～ 22:00

会長挨拶：緊急ですみません。大学王座に関する事です、最後までよろしく申し上げます。

### 1 議事の経過の要領及び議案審議の結果

#### 1) 決議事項

##### ・大学王座に関して

小山田理事：駒澤大学でコロナ感染者が出てしまい緊急の理事会を開催していただきご迷惑をお掛けします。また8月21日に予定されている大学王座の直前にこのようなことになり深くお詫び申し上げます。

仲間専務理事：8月21日に大学王座とUJ王座が予定されており、この大会をどうするかという事についてご意見をいただきたい。駒澤大学、芦屋大学、開催地の和歌山県からのご意見を伺ったうえで皆様からのご意見をいただきたい。

芦屋大樋山監督：この事実を知ったのが昨日です。駒澤大学においては同じ指導者として気の毒であると思います。大学の方にも相談したが、なぜそのような審議になるのかと言われた。ボクシングは大会当日に体重と体調を調整して初めて試合が成立する競技であるにもかかわらず、このような議論がされることに疑問を感じている。

和歌山県遠藤氏：和歌山県は関西連盟で受け手がなかったため、関西の面子を立てるために、この大会を請け、準備を進めている。日本連盟の決定に従うが、延期をした場合は和歌山で試合をすることは不可能である。2大会分の費用を負担することはできない。もしも延期をするのであれば別の場所をお願いしたい。アンダージュニアの大会は責任を持って開催する。

仲間専務理事：心情的な話と現実的な話は難しい部分がある。先日の高校総体でもコロナの関係で棄権したチームもある。ルール上は試合当日に参加できなければ不戦敗となるのだと思う。その中で駒澤大学からは延期ができないかという文章が日連に届いているので、皆さんで議論していただき結論を出したい。

中島理事：コロナという状況であり、不祥事という訳ではない。トーナメント戦のような場合は致し方ないが、今回は関西、関東の代表が決まっている大会である。お互いの大学で日程や試合会場、経費の負担について合意できれば、あとは日本連盟が王座決定戦として認定することも可能かと思う。アスリートファーストを掲げるのであれば、ぜひ考えていただきたい。

安川理事：中島理事と同じ考えです。団体戦でもあるので当事者同士の合意があれば延期等もあるのではないかと。

中村理事：芦屋大学の選手はどういう気持ちなのか。芦屋の選手たちもコンディションを整えてきているので延期で、もう一回というのは苦しいかと思う。一番大切なのは双方の選手がどう思うかという事だと思う。

関西佐藤会長：当事者同士の話し合いがスポーツマンシップ則ったやり方だと思う。但し、駒澤の原状復帰にどの程度の期間が必要なのか。長くなれば学生の就職活動等にも影響がでてくる可能性もある。当事者同士でよく話し合うべきで第三者が決めることではない。

菊池理事：大会の運営側として大学王座が分離することによってどのような影響があるのか。

和歌山県遠藤氏：両大会とも楽しみにしていたが、元々分離して考えてはいなかったのです。

菊池理事：協力機関に対してアンダージュニアだけでは成立しないということがあるのか。

和歌山県遠藤氏：冒頭でも説明したが、アンダージュニア王座は責任を持って予定通り開催する。コロナという特殊な状況なので、しっかり説明をして理解をいただく。

佐藤義理事：話し合いではなく芦屋大学が受けるかどうかが大前提ではないか。

内田会長：ボクシング競技なので、大会当日に試合に体調を整えて臨めるかどうかが必要だと思う。コロナも病気の一つだと考えると延期をすることはルール上おかしいことだと思う。

芦屋大樋山監督：みんなが心苦しい。これで勝っても選手は喜ばないかもしれない。ただ選手にはまだ何も伝えていない。しかし明日はもう3日前です。どんな大会でもコロナに罹ったからといって延期をすることはない。団体戦と言っても日程は決まっていることなので、この日を目標に選手を指導してきた。もしかしたら逆の立場になっていたら私は辞退する。駒澤大学には気の毒だが、私は、そのつもりで毎日の体調管理も指導してきた。インターハイも1日しか観に行けていない。駒澤も気を付けていたと思うが視察に2名行かれていた。私は1人残して選手の管理をしていた。駒澤を非難しているわけではない。どこでも起こりえることだが私たちはその中で注意して準備をしてきたというのが現実です。選手にどのように伝えていいか悩んでいる。その点は解ってもらいたい。

後藤理事：ルールとしては棄権が妥当かと思うが、代替大会等を考えてもよいのでは。

内田会長：今回は駒澤大学には辞退をしてもらいたい。

小山田理事：サッカーのリーグ戦では延期をして大会を実施している。

中島理事：専務理事に聞きたいが、要項には何らかの記載はないのか。

仲間専務理事：要項の確認はしていないが万全な体調で参集できなければ棄権となるのでは。

中村理事：今回の要項は見ていないが過去にそのような記載はなかった。

関東山口会長：かつてないほどのコロナの状況で感染者が増加している。

ルールの問題、心情の問題、現実的な問題がある。その中でルールに則ることは重要かと思う。過去に日程や場所を変えるようなルールはなかった。心情的な問題であれば当事者同士の話しかない。例えばプロのタイトルマッチではどうなのか。

中島理事：プロなら興行の関係と双方の合意があれば延期だと思う。

内田会長：冷静に考えてもらいたい。延期して次は芦屋大学でコロナが出たらまた延期をすることになるのか。ルールに則って行うことが必要だと思う。

石橋理事：かなり厳しい見方だと思う。大学は教育機関で文科省からコロナに関してはなるべく配慮するように言われている。色々な競技が延期もしている。その都度、意見交換をしながら決めていくことが重要だと思う。「ボクシングはこうだ」という考え方は現状ではそぐわないと思う。

芦屋大樋山監督：相手校だから言っているのではない。ボクシングのルールは健診計量で合格しなければ試合に出られない。どの大会でも同じだと思う。私は1日3回体温と体重をチェックして準備してきた。厳しいようだがルールなので守るべきだと思う。

仲間専務理事：きちんとしたプロセスを踏むことは意味がある。小山田監督から要望が出たので必要な人員が集まって協議したことには意味がある。

中島理事：延期して下さいという話ではない。辞退はすでにしている。このコロナ禍という状況で何らかの配慮はないのかという話である。日本連盟が決めることではない。駒澤でも樋山さんが言うようなことはずっとやってきて注意をしてくれている。それでもこのような事態になったので何とか考えてもらえませんか。という事です。

内田会長：お気持ちはわかります。コロナ禍である以上、次は芦屋大学がまた駒澤大学がコロ

ナに感染する可能性があります。延期することは難しいと考える。

坂巻議長：中島理事から既に辞退しているという話があったが芦屋大学の不戦勝でよいか。

芦屋大樋山監督：芦屋大学は健診計量に合格しなければいけない。

仲間専務理事：既に辞退しているのならこれ以上理事会で議論する必要はない。今後、両校で練習試合等をするのであれば、お互いで話し合う事かと思う。

小山田理事：辞退せざるを得ない状況なので、辞退届を出している認識です。延期して公式戦を行っている競技もあるので何とかならないかとお願いをしたところ。ルールがあることは認識しています。駒澤でも当然、感染対策や体調の管理は行ってきました。感染が拡大している状況の中でこのような事態になってしまった。ワンマッチの大会なので柔軟に対応できるのではないかとこの思いもあり報告の最後に一文を入れさせていただいた。選手たちにはまだ会って話をすることができていない。最初に感染した選手は責任を感じているのではないかと心配している。感染の経緯も分からない。心情的な部分で議論をしていただくのは心苦しいが、選手たちも一生懸命頑張っていたので、皆さんにお願いをした次第であります。ルールを解っていないような雰囲気になってしまい、このような言い方になってしまったがルールは十分に理解した上でお願いをした次第である。選手たちが今回の件で一生苦しい思いをするのかという思いもあって苦しいところである。

菊池理事：文章をみると辞退という内容ではなく、延期をお願いしたいという内容かと思われる。それであれば議決が必要になると思う。

中村理事：試合に向けてトレーニングをしてきた芦屋の選手のことを考えると、延期というのは厳しいのではないかとと思う。

小山田理事：文章は辞退という認識で作成しています。これ以上の議論は必要ないと思います。

中島理事：最後のお願いの一文を削除して辞退届として再提出するようにお願いします。

坂巻議長：この件については駒澤大学の辞退という事で終了します。

## 2) 審議・報告事項

### ・UJの強化合宿の中止について

内田会長：兵庫県西宮香風高校で予定していたUJの強化合宿を中止したい。

樋山氏：UJ・ジュニア・ユースの担当者となっているのでお聞きする。8/20から緊急事態宣言が発令されるので府県の交流はダメであるので、当然合宿は出来ない。

質問だが、どういった経緯で決まったことなのか。関西連盟の会長も知らなかったし、私も知らなかった。コロナ禍の中なので慎重にやって欲しいし、関係者に相談しながら進めるべきではなかったのかと思うが。

及川事務局次長：強化計画の中にあるもので、事務局では中村事務局員が担当して、友野強化委員とやり取りしていることは把握している。

樋山氏：及川さんは、私が質問したことに回答ができていない。きちんとした形で、順序を踏まえてやらないといけない。当該県の会長やブロックの会長に伝わっていなかったことが問題である。もし、問題があったらどうするのか。今後、連絡が出来ていないようなことがないようにして欲しい。

仲間専務理事：事務局の連絡不行き届きである。今後ないように気を付けます。申し訳ありませんでした。

佐藤氏：緊急事態宣言下の中で強化合宿を行うことを、兵庫の会長から聞いた。担当者を含めた対応を十分をお願いしたい。

仲間専務理事：ご指摘ありがとうございます。今後、連絡不備の無いように事務局一同気を付けま

す。

坂巻議長：第1回UJ強化合宿は中止とします。

・世界選手権選考会について

小山田理事：2021年世界選手権が10月末から11月頭にベオグラードで開催される予定である。代表を決める選考会を9月2日から9月5日に神奈川県スポーツセンターで開催する予定で進めている。選出選手については別途資料があるが、現在のJOC強化選手、日本連盟の強化指定選手、関東トーナメントで力があるだろうという選手を2名、関西のトーナメントで活躍した選手2名をプラスして選考を行う。AIBAの新階級で、出場する階級を選手にアンケートを取り、トーナメント方式で代表を選考する予定である。

林田理事：審判執行部で日程について検討している。土日に関しては、審判の委嘱は可能かと考えるが、木金については、皆さん仕事もありボランティア活動なので困難である。このことを、東部長から本強化委員長に話をして貰ったが、どうしてもやって欲しいとのことであった。強化委員で決めたことではあろうが、審判部も簡単に行かない事情もあるので、そのあたりも察していただき日程を考えて欲しい。私の知る限り、9/2が1試合、9/3が17試合、1試合15分セッションで行ったとしても4時間程度掛かる。3人ジャッジで行うのか、5人ジャッジで行うのかで委嘱人数も変わってくる。最低10名は集めないといけないのかと考えているが、その10名を集めるのが困難な状況である。東部長からは、女子みたいに2日間で行えるような、各階級4名となるよう選考して貰えれば審判部も助かると進言して欲しいとのことであった。

山口氏：先週、強化委員会から世界選手権の予選にドクターが必要かどうかの相談があった。試合であればドクターが必要ではないかと回答した。審判と同じように、平日を含む期間ではドクター派遣も困難であろう。神奈川県で行うので、神奈川県ドクターをお願いするのであろうが、なかなかタイトであろう。そこらも考慮いただき試合日程を組んでいただければと思う。

内田会長：今回、AIBAの階級変更に伴い、選考会人数が増えたと小山田理事から聞いている、それは仕方がないと感じている。また、同じ大学から複数の選手が出場していることについては、コロナ渦中で同じ大学内でも練習が出来ていないので、現状の実力が把握できていないことが理由であると聞いている。このようなことで、今回は審判部に何とかして欲しい。

林田理事：候補として、関東近辺のA級審判を選考しているが、具体的に依頼をしてはいない。一応御願いはするが、最低6名は必要かと思う。6名で17試合はキツイ。皆さん仕事もあり、急な話しなので必ず確保できるとは約束できない。

後藤理事：女子も世界選手権の選考会を行うにあたり、計画が遅くなり、男子強化委員会や審判部やドクター、その他様々な人にご迷惑を掛けて申し訳ありません。女子は、9/3に集合して9/4~5の選考会に抱き合わせで行うことになった。このことで、試合数が増えて審判部には迷惑を掛ける。日程が短い中で、4人に絞ることは大変難しく、参考になる試合がない中で選考している状態で色々な意見が出ている。要項も出来てなく、この状況でもなんとか成功させたいのでお願いします。

林田理事：関東近辺の審判から声を掛けるが、揃わない場合は離れたところから委嘱すること

は大丈夫なのか。

内田会長：仕方ないと思う。

後藤理事：事務局にも迷惑を掛けているが、引き続きお願いします。

### 3) その他

#### ・国際ボクシングデーについて

菊池理事：8月27日が国際ボクシングデーと定められており、日本として、どのように取り扱うのかとAIBAから何度も連絡が来ている。スイスに入江選手と並木選手が招待を受けていたが、個人的な招待大会であり、体調優先ということで丁寧にお断りする文書は出した。日本連盟としてボクシングデーに何をするかということを、かなりの電話やメールが来ている。提案とかあればという相談である。

坂巻議長：ご意見はないか。

菊池理事：無いようであれば、まだ決定事項ではないが、9月5日にオリンピックの祝賀会を行うようになると思う。その時に、ボクシングデーを祝うような形をとりたい。ただし、8月27日までには行うことにはならないので、招待された二人の写真とかコメントを送りたいと考えている。

仲間専務理事：本日23時からボクシングデーについての会議がある。AIBA自体が何をしたいのかわからない。第1回世界選手権がキューバで行われたが、その日が8月27日で開催っらしい。実際に、ローザンヌでボクシングに関する記念品を展示したり、ちょっとした試合をしたり、見たりすることをするらしい。日本連盟が出来ることといえば、メッセージを発したりしかできないので、会議の内容を聞いて何が出来るのかを報告する。

菊池理事：報告いただいて、それをまとめて皆さんに報告し行いたいと思う。

#### ・オリンピックで複数メダル獲得したことによる出演依頼や広告出演の依頼について

井崎理事：オリンピックが終わり、選手の出演依頼や広告の出演依頼が相当数来ている。

連盟の窓口として私が受けたりしているが、業務委託でマネジメント会社を付けた方が良いのではと考える。入江選手を例に挙げると、競技や学業に集中できる環境を作って行くことが前提で、その上で入江選手本人と、女子ボクシング、日本連盟全体の将来設計をして行く役割になってくると思う。私も本業の傍らやっているが、打ち合わせの最中に連絡あったりするのでマネジメント会社を入れたいと思う。ここで決めることではないが、広告契約に関しては、割りと額が大きくなったりしてくるので連盟が10%とっても良いと考える。番組出演に関しては、選手に報酬を謝礼という形で渡しても良いと思う。このような取り決めをした方が良いと思う。メディアや広告代理店も含め、各企業に対して失礼のないような形でお断りをしないといけない案件も多々出てくる。そこらを考えてワンクッション入れた形が良いと思う。

岡澤選手に関して、個人スポンサーを付けて活動しているが、先日本人と話した中で、本人やジムが契約を受けてしているがマネジメントして貰いたい思いがあるみたいである。

仲間専務理事：井崎さんの話しは、その道のプロの目から見た話しである。補足ではないが、日連のメールは私に転送されてくるが、凄まじい数のメールが来ており事務局自体はその処理が大変で支障が出ている状況である。井崎さんを含めて議論し、本人らの意向も含めて、きちんと公益の高いところで管理出来ればよいと考える。

この件に関して異論なければ、今後、事務局サイドプラスαで進めさせていただき報告したい。

・全日本選手権の放映について

井崎理事：現在、全日本選手権に関する中継が宙に浮いている状態である。自前で撮影して、自分たちで映像の権利を持って配信して行くやり方と、民放も含めるテレビ局に中継をして貰う両面で考えているが、時間もないので決めて行かなければならない。手を上げてくれているテレビ局もあるが、自分たちで映像を撮って配信するやり方と、テレビ局で中継して貰うやり方では、メリット、デメリットがそれぞれある。あまり時間がないが、考えた上で報告させていただきたい。

併せて、今年は全日本のポスターを作ります。先週撮影したのだが、それをもって大々的にインパクトのある情報発信をする。今後スポンサーセールスも考えて、立体的、複合的に考えて行く。まだ見せることは出来ないが、今後進捗も含めて報告したい。

中村理事：NHKが離れる可能性があるかと聞いている。ここ数年せつかく慎重にやってくれることになったのに、別に良い話があって、確実な見通しの話があるのであればしょうがないと考える。

開催まであと3ヶ月だが、スポンサー協賛を集めることを心配している。1カ月前にはプログラムを確定して作らないといけないので、焦っている。

スポンサー協賛、広告協賛について、早急によりしくお願いします。

菊池理事：NHKのことについて報告しておきます。離れるというか、毎年契約の話しを持って来ていただいている状態であるが、今年は来ていない。現段階で来ていないということは、契約の意思はないと考えられる。

全日本選手権に対する全国のスポンサーについても、出来るだけ早く取り掛かりたいと思う。広報戦略と打ち合わせしながら、事務局と合わせて取り組みたい。

井崎理事：スポンサーの大口のところをアプローチして行くことはもちろん考えるが、私一人で出来ることではないので、全員が自分のこととして捉えていただかないと集まらない。パンフレットに掲載する小口の協賛も必要。私がやれることは精一杯やるが、全部ゆだねられても困る。メディアも含めて、ボクシングに関する意識は高まっているので誠心誠意伝えてアプローチして行く。

菊池理事：井崎さんに全部被せるつもりはありません。現在、墨田区全体の企業をピックアップしており、全部に当たって行く予定である。全国の都道府県に広告のお願いを出す準備もしている。広報戦略に共有なく進めるわけにはいかない。

豊田事務局長：事務局も、ずっと旅行会社をお願いしていたが、今回、京王観光と交渉して提案書が提出され、10月から1年半ということで、250万円から300万円は提供いただけることで、会長、専務からも了承をいただいた。

今後、HPにもロゴが掲載されることになる。全日本選手権にも30万から50万円の協賛をいただける予定である。

・全日本社会人・全日本女子選手権（ジュニア）について

池端理事：総務委員会から、10月27日～31日に栃木県で開催される全日本社会人選手権と全日本女子選手権ジュニアの件で、先日から仲間専務からLINEにも審議をあげて頂いている案件である。観客を入れるのか入れないのか、選手の定年延長を認めるのか認めないのか、インテグリティ研修を先日のインターハイの時のように事前に

WEBで行うのかの3件について、ここで審議頂き、準備している栃木県に報告したい。

仲間専務理事：LINE上である程度議論させていただいた。有観客か無観客に関しては、原則行政の指示に従う。状況に従って無観客とすることで、意見がなければそれで良いと思う。年齢制限に関しては、色々意見が出たが、一定数以上が認められないという意見が多かった。心情的な部分はあるが、審判部では特別措置でと、医事委員会では結論が出ずで、理事会にあげたが、安全性の問題はどうなのかという形になってしまうので、認められないという方向にせざるを得ないかと思う。インテグリティ研修をWEBで行うことについては、時間の節約にもなるのでWEBで行う。年齢制限について、意見があるならいただいてから決定したいと思う。

小山田理事：ルールどおりにやれば良いと思う。

内田会長：私もルールどおりが良いと思う。

仲間専務理事：本日は決議出来ないが、ルールどおりが妥当である。

決議が必要なら書面決議で行うが、残念ながら出来ない旨を伝える。

意見箱に書いてくれた本人には、丁寧にお返事をする形になる。

池端理事：インテグリティ研修については、日本連盟と栃木県連盟とが連絡を取り合って協力をして進めて頂くようお願いいたします。

以上